

部門賞 受賞者の紹介



環境工学部門功績賞を 受賞して

佐藤 透
JFE テクノリサーチ株式会社

この度、第15回（2004）環境工学部門功績賞を賜り大変光栄に存じます。

顧みますと1993年に初めて部門運営委員として学会の活動に参画致しましたが正に西も東も分からぬ状態で先任委員の方々からのご指導ご鞭撻を賜りつつ、なんとか任務を遂行できたことを感謝して居ります。1996年には学会創立100周年に向けて記念事業委員会出版委員を仰せつかりましたが皆さんの協力の下で「環境工学の100年」を纏めることができました。1997年に副部門長を拝命しましたがこの年、京都において開催されたCOP3で地球温暖化防止に関する議定書が採択されたことをエポックメイキングな出来事として鮮明に覚えております。この京都議定書が本年2月に漸く発効したことは今後の環境工学部門の重要性と相俟って感慨を覚えます。また翌1998年に部門長を務めさせて戴きましたが微力ながらこれら一連の活動に対してこの度の栄誉を賜ったものと推察いたして居ります。今後も益々当部門の役割は大きなものとなりますが関係各位の一層のご活躍を祈念して受賞のお礼と致します。



環境工学部門技術業績賞を 受賞して

桂木 格
川崎重工業株式会社

この度、「ガスタービンを2基設置した複合ごみ発電プラントの運転報告」に対しまして、栄えある環境工学部門技術業績賞を頂き大変光栄に思っております。本プラントは地球環境への配慮や地球温暖化防止を背景とした社会的ニーズに対応した、資源循環型社会実現のための必要条件のひとつである廃棄物発電の高効率化を目指しており、ごみ焼却炉から発生した蒸気をガスタービンの排熱を利用して再過熱し、発電効率を向上させている複合発電プラントです。ガスタービンを利用しているため電力の安定供給が可能であり、地域のエネルギーセンターとしても位置付けられています。このプラントの特徴としては、部分負荷時でも効率の低減を極力減らすようにガスタービンを2台設置し、地球環境にやさしい工夫がなされています。今回はこのプラントに対しまして高い評価を頂き、私はその設計を担当した代表として賞を頂いたと認識しております。ここに川崎重工関係者他、本プラント建設にご協力頂いた皆様に、改めて深く感謝の意を表します。



環境工学部門研究業績賞を 受賞して

木村 康正
神戸製鋼機械研究所

この度は環境工学部門研究業績賞を頂き、誠にありがとうございます。3点マイクロホン法による音響特性計測法の開発が受賞対象となりました。私は神戸製鋼機械研究所に所属し、長年にわたり建設機械、産業機械の低騒音化に取り組んで来ました。エンジンや圧縮機の配管系や消音器の音響特性を検討する場合、伝達マトリックス法による解析が広く用いられますが、実際の配管系の形状は複雑で、理論的に伝達マトリックスの音響特性を決定する事が困難な場合が多く実験による計測が必要です。音響特性の簡便な計測法として3点マイクロホン法による計測法を開発し、エンジン吸気配管系をはじめ、吸音材の伝搬定数、油中における細管束や多孔板の減衰特性の計測に適用しその有効性を確認してきました。本手法を多角的視野に立ち系統的に研究開発を行ってきた事が評価され非常にうれしく思います。今後も低騒音化への要求は益々強くなり、更に高度な音響設計技術が必要となるものと考えますが、今回の受賞を励みに対応していく所存ですので、今後ともよろしくお願ひします。



環境工学部門研究業績賞を 受賞して

馬場 弘
元北見工業大学

この度は環境工学部門研究業績賞を頂き、誠にありがとうございます。受賞対象となったのは2002年および2003年のシンポジウムで発表した「太陽熱を利用した家畜糞尿のメタン発酵装置の熱解析」であります。この論文は北見市にある農業用資材を扱う企業と、帯広畜産大学の関係者との協力のもとに出来たものであります。周知のとおり、地球温暖化防止の為に、再生可能エネルギーの利用が普及することが重要であります。しかし、一般に自然エネルギーは時間的な変動が大きく、単位面積当たりのエネルギー密度が小さいことから、化石エネルギーのように必要に応じて便利に使うことが出来ません。この点、メタン発酵は35℃以上の温度で起こり低密度な太陽エネルギーを長期間に亘って有効に利用し、発生したメタンを高密度エネルギー源として利用出来る理想的な形態です。低コストで各酪農家に設置できる本システムの普及は温暖化防止技術として極めて有効と考えております。関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、太陽熱利用の普及に尽力して行きたいと願っております。